

## 病児・病後児保育事業の量の見込みと確保策

## 【事業の内容】

病児・病後児について、病院・保育所等に付設された専用スペース等において、看護師等が一時的に保育等を実施する事業です。

単位：人日／年

【全区域】	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度
①量の見込み	390	1,705	3,020	4,335	5,650	5,649
②確保の内容	2,441	2,734	4,003	5,272	5,858	5,858
差異（②－①）	—	1,029	983	937	208	209

【北部】	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度
①量の見込み	—	949	1,682	2,414	3,146	3,146
②確保の内容	816	979	2,118	2,281	2,607	2,607
差異（②－①）	—	30	436	▲133	▲539	▲539

【南部】	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度
①量の見込み	—	756	1,338	1,921	2,504	2,503
②確保の内容	1,625	1,755	1,885	2,991	3,251	3,251
差異（②－①）	—	999	547	1,070	747	748

※平成 26 年実績の「量の見込み」は、平成 26 年 3 月末時点の実績値。

※平成 26 年実績の「確保の内容」は、平成 26 年度の受け入れ可能数。

（訪問型：5 人／（現在平均して預かれる病後児サポーター数）×293 日（開所日数）＝1,465 人日／年）

（施設型：4 人／日（定員）×244 日（開所日数）＝976 人日／年）

（北部と南部は、0～11 歳の人口比率で按分）

## 【今後の方向性】

現在、区内に病児保育がなく、施設型病後児保育が区南部にしかないため、区内における施設型病児保育、北部での施設型病後児保育を実施します。また、訪問型病後児保育についても、新たな担い手を確保し、利用しやすい環境づくりを進めます。

なお、北部の平成 29 年度から 31 年度の不足数については、区全体を対応可能な訪問型病後児保育により確保します。

### 病児・病後児保育事業

項目	実施施設	平成25年度実績	平成26年度				備考
			1日の定員	開所日数	定員		
病児・病後児保育事業	【施設型】わらべみどり保育園	224 人日/年	4	244	976	人日/年	小学校就学前までが対象
	【訪問型】はぐ(Hug)	166 人日/年	5	293	1,465	人日/年	小学校3年生までが対象

病後児サポーター38人平均して預かれる会員数 5人

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度		
集計	①量の見込み	北	—	949	1,682	2,414	3,146	3,146	
		南	—	756	1,338	1,921	2,504	2,503	
		合計	390	1,705	3,020	4,335	5,650	5,649	
	②確保の内容	【訪問型】北	816	979	1,142	1,305	1,631	1,631	0.556760233
		【訪問型】南	649	779	909	1,039	1,299	1,299	0.443239767
		【施設型】北	0	0	976	976	976	976	
		【施設型】南	976	976	976	1,952	1,952	1,952	
		北	816	979	2,118	2,281	2,607	2,607	
		南	1,625	1,755	1,885	2,991	3,251	3,251	
		合計	2,441	2,734	4,003	5,272	5,858	5,858	
	③人数(訪問型)	合計	5	6	7	8	10	10	
	③箇所数(施設型)	北	0	0	1	1	1	1	
		南	1	1	1	2	2	2	
		合計	—	1	2	3	3	3	
	差異(②-①)	北	—	30	436	-133	-539	-539	
南		—	999	547	1,070	747	748		
合計		—	1,029	983	937	208	209		